

中心に区内全域を結ぶ計画としている。整備対象路線は、都市計画道路、旧水路跡及び駅周辺の自転車集中する路線とし、わかりやすい路面表示やサイン表示などを活用して、自転車の安全な走行環境を順次整備していく予定である。

文化芸術振興について

【問】公明党が提言する文化芸術振興条例策定の進捗状況と現時点での検討内容、議会への提案時期について伺う。

【答】社会教育委員に「足立区における文化芸術振興のための基本施策」策定を諮問した。10人の委員で2年間審議して頂くことになっているが、平成16年秋には中間答申を頂けるものと期待している。区としては、中間答申をもとに条例案を策定し、平成16年第4回定例会には提案していく。

【問】千寿第三小学校の改築計画は当初PFI手法によって事業推進を図るとしていた。

しかし、10月の文教委員会で整備手法を従来方式に変更するとの報告があった。その理由を、区民に解り易く示されたい。さらに、今後のPFIの活用は制約されるのではと思うが、今後の改築計画について示されたい。

【答】実施方針策定過程における国との交渉の中で、現段階では「地域協働型PFI」の実現は非常に困難であると判断した。また、千寿第三小学校は敷地面積や立地条件から他の大型公共施設との合築や収益事業が可能な施設を併設することができない

ため、効果が期待するほど得られないと判断した。以上2つの理由から変更に至ったものである。

しかし、現在の厳しい財政状況の中で、学校改築を円滑に進めていくためには、PFI手法の活用も必要である。今後、基本構想の策定を待つて、関係各課との協議を進めていく。



前野 和男 議員

学校選択制度について

【問】この制度が導入されて2年が経過したが、児童・生徒数が激減している学校に対する対応策について示されたい。また、学区内就学者だけで受入枠が一杯になりつつある学校もある。教育委員会の見解を示されたい。

【答】児童・生徒数が減少した学校等を支援するため、「がんばる学校推奨制度」や教職員の配置の工夫を行っているが、なお一層ソフト・ハードの両面から対応を図っていく。また、受入枠については、制度見直しを図る中で検討していく。

【問】近年、部活動の低下の原因として、指導者の不足や教員の異動等による部活動の存在が揺らぐ傾向が指摘されている。積み上げてきた成果や実績が無に帰したり、存在さえ危ぶまれる事態は、何としても回避しなければならぬ。確たる対応策を示されたい。

【答】学校間の合同部活動の推進や新世紀プラン事業による指導者への経費の一部助成を行う

など、学校と連携をとりながら部活動の推進を行っている。今後は、スポーツ団体や文化団体との連携を強化し、様々な角度から部活動支援を推進していく。



読書活動を積極的に推進せよ

【問】区内の小・中学校では、読書活動に消極的な学校がまだ見受けられる。国語力の育成の観点からも見過ごすことができない問題である。学校教育において、朝の読書を含め読書活動を積極的に推進すべきと思うが、教育委員会の取組みについて示されたい。

【答】児童・生徒の1ヶ月あたりの平均読書冊数については、高学年から中学生へと学年が進むに従って減少傾向にある。その解決のため、各学校では「読書の時間」を設定するとともに、「読書週間」や「読書旬間」を設けて児童・生徒の自発的な読書活動を推進している。15年度末には、「読書教育推進パンフレット」を作成し、学校へ配付したいと考えている。また、指導主事が学校へ訪問する際に繰り返し読書の重要性を指導し、なお一層の読書活動の推進を図っていく。



つすい 浩一 議員

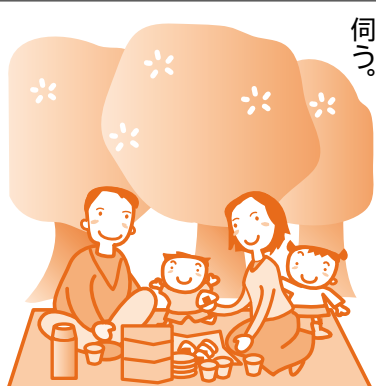
土日に窓口サービスを実施せよ

【問】土日に窓口サービスを実施している所は、北千住サービスセンターのみである。そのセンターも平成16年2月に西口再開発ビルに移転し、千住区民事務所と統合される。

しかし、土日は窓口サービスを行わないと聞いているが、丸井が入居するビルの10階に移転するのであれば、お客様が集まる休日に是非、窓口サービスを実施すべきだと思うが、どうか伺う。

【答】休日の窓口サービスのあり方については区民要望やシステム改修といった費用対効果を十分勘案しながら、引き続き検討していく。

【問】平成19年度に開通を目指して日暮里・舎人線の工事が進められているが、全国でも第3セクターの鉄道経営が思わしくなく、存続のため自治体で赤字を補うことをしている例も少なくない。そこで、公明党は新線開通に伴う地域活性化の目玉として、舎人公園を近隣地域に類のない桜の名所とすることを委員会等で主張してきたが、東京都との協議の上での進捗状況を伺う。



【答】平成12年度以来、東京都

も花見広場の整備を行う旨の回答を得ている。区としては、今後とも植栽位置の提案など、里帰り桜の効果的な利用について、積極的に東京都に働きかけていく所存である。

【問】荒川区の区立荒川遊園や江戸川区の葛西臨海公園などでは、様々な工夫をし、連日賑わいをみせている。舎人公園も人を引きつける名所とする、まさに今が千載一遇のチャンスであ

り方については区民要望やシステム改修といった費用対効果を十分勘案しながら、引き続き検討していく。

日本共産党足立区議団



渡辺 修次 議員

自衛隊のイラク派兵について区長の認識を問う

【問】政府が自衛隊のイラク派兵を決めたが、「平和と安全の都市宣言」をした自治体の長として、どのように考え、行動しようとしているのか、考えを示せ。

【答】イラク情勢については、一日も早く破壊的なテロが根絶され、イラク国民の生活の安定と、民主的な手段によるイラク政府が確立されることを願う。

【問】生業資金貸付制度の目的は、生活保護に頼らず資金を受けて事業を開業または継続することによって自立して生活できる区民を応援することである。「非課税世帯」という貸付対象枠をなくし、自立したい区民を応援すべきと思うが、どうか。

【答】生業資金は、福祉資金として創設されたもので、一般の

り、東京都に積極的に主張するべきである。そのためには、プロジェクトを早急に立ち上げ取り組むべきだと思うが、どうか。

【答】すでに東京都と足立区で設置している「沿線開発都区協議会」と、住民のみならず構成する「沿線開発推進協議会」を活用し、より一層観光振興という視点を重視、充実し、住民のみならずの意見を十分に踏まえつつ、東京都にも積極的に働きかけていく。

12年度までの貸付状況は、課税世帯が多数を占めており本来の貸付目的から乖離したものがなっている。そこで制度の趣旨に立ち返り、対象者を「非課税世帯」に限定したものであるの

【問】未利用公有地を活用したフットサル場、スケートボード場等の整備や、人通りの多い所にストリートミュージシャンの方々が利用できる場をつくること、フェスティバルなど発表の場を設けるなどの支援策を進めるべきと思うが、どうか。

【答】青年の居場所づくりは重要な施策と認識しているが、厳しい財政状況であるので、フットサル場等の設置は今後の検討課題としたい。

産業振興にも繋がる住宅新築・

改築助成制度を創設せよ

【問】区民が区内業者を利用し、住宅の新築・改築した際は、業者支援や商店街支援などの産業振興にも繋がる区内共通商品券を建主に配布する助成制度を創設すべきと思うが、どうか。

【答】住宅助成については、用途地域の見直しによる規制緩和や、環境整備指導要綱に基づく住環境の整備等により総合的な魅力あるまちづくりを進め、「住んで良かった、住みつけたいあだち」の実現を図っていきたい。このことが住宅市場を活性化し、区内業者への注文も増えていくと思われる。

従って、住宅建設等に対し、補助することは考えていない。

【問】16年度から小・中学校の全校で2期制が実施されるが、検討状況等の経過からみて、全校実施の結論が余りにも拙速である。全校実施は凍結して、保護者や子ども、教員などの現場の意見も十分吸い上げ、15年度試行「校の厳密な検証を行ってから判断すべきと思うが、どうか。

【答】2期制は12年度から検討を始めるなどし、研究を進めてきた。15年度は小・中9校で先行実施し、保護者や校長の代表からなる2期制検討委員会を立ち上げ、授業時数の確保等、多

